







大分県特定協運営委員会 議事録

会議名	平成 21 年度 第 4 回	日 時	H21.9.25(金)16:00 17:00
	大分県特定協運営委員会	場 所	はびね別府流川 会議室
司 会	事務局 首藤		
出席者	はびね別府流川（八坂）、ジュエル藤原（松谷） ウェルファ豊丘（佐藤）、おおいた南（渡邊） 事務局...グランドホーム古国府(首藤)		
経 過	1. 第 1 回定例研修会の反省 1)研修会終了後のアンケート集計結果から 7 割以上の方々が「参考になった」や「良かった」であったが、もっと具体的な事例などが聴きたかったなどの意見もあった。 グループワークについては、8 割の方々が「良かった」と答えてくれました。 今後の課題として、時間や回数、テーマを前もって決めた方が良のか？などが上げられていた。 2)オブザーバーから見た反省点 どのグループも記録係の役ができていなかったようだ 記録に徹して欲しかったが、話し合いに参加して記録がおろそかになっているグループがみられた。 司会者によって進め方に違いがでてくる 慣れ不慣れがあるようで、司会者によっては話が途切れるグループもあった。 今後は誰が司会者になってもいいように、ある程度のシナリオが必要かも？ 問題解決や対応処理のレベルや経験、意識が施設で異なるため、話が偏る 経験したことや職員の意識の違いがあるため、話が弾む施設もあれば、そうでない施設もある。当然前者が進行の主導権を握ってしまう。		
	2. 第 2 回定例研修会について 1) 期日と内容について 前述の反省内容を踏まえて、次回の研修会の概要を検討した。 期日 講演のテーマについては、前回実施したアンケート結果から、もっとも多かった「介護予防に関する研修」を予定。 講師の都合により、期日を 12 月 2 日（水）午前 10 時からとした。 内容 第 1 部 講演 テーマは介護予防で、演題「要介護度および要介護進行予防」 講師 高橋知良氏 大分県理学療法士協会 理学療法士 内容 講義 45 分 実技 45 分 合計 90 分 第 2 部 グループワーク 介護職及び看護職の情報交換の場を設けます。 日頃抱えている問題や悩み事について、他の施設の同職種と情報交換を行うことで、その解決の糸口を探る。 * 研修終了後、懇談会を予定します。		

経過	<p>2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所については検討中 忘年会シーズンなので早めに決定する ・グループワークの進め方については、第1回目の反省を踏まえて次回運営委員会で詰めていく。 ・話合いのテーマについては、事前にアンケートをとる。(10月中旬までに) <p>4. その他</p> <p>1) 職種間および施設間の交流会実現に向けて</p> <p>第1回定例研修会後の参加者アンケートから、同じ職種間で交流を兼ね情報交換をしたいとの意見が多かった。これを実現させるために特定協として何かできないかを事務局が提案し、参加委員に検討していただいた。</p> <p>運営委員会が主体となるのではなく、部会を創設してリーダーを決める。例えばケアマネ部会、相談員部会などで、会の運営についてはリーダー中心に行ってもらおう。但し、運営委員会への報告は必要とする。</p> <p>情報交換の場を多くすることで、定例研修会や研修センター主催の基礎研修に参加できなかった施設もどこかの研修に参加できるような機会を増やす。</p> <p>部会の活動費は一部補助する。金額や方法については次回運営委員会で検討する。</p> <p>すべての職種の部会を同時に立ち上げるのは無理が生じる。</p> <p>まずは生活相談員の部会を立ち上げてはどうかとの意見あり。次回検討する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>							
	中途出席	ウェルファ豊丘(佐藤)						
中途退席				必要事項 (備品、用品等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場借上げ代金...0 ・飲茶代金...0 ・資料コピー代金...0 			
欠席	スカイホームあけの(峯) まごころ苑(中山)							
回覧印	会長	副会長	副会長	委員	委員	委員	監事	
								
記録者	事務局 グランドホーム古国府 首藤毅志 